

官報

號外

明治三十八年一月二十七日

金曜日

印刷局

○第二十一回 衆議院議事速記録第十一號

明治三十八年一月二十六日(水曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十號 明治三十八年一月二十六日

午後一時開議

- 第一 地租條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 所得稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第七 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第九 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十一 賣藥稅法案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十三 不動産登記法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十五 明治三十五年年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十七 明治三十五年年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十九 明治三十五年年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第二十一 明治三十五年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第二十三 明治三十五年年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第二十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

- 第二十五 明治三十六年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第二十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第二十七 明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第二十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第二十九 明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第三十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三十一 明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第三十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三十三 明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)
- 第三十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三十五 佐竹作太郎君根津嘉一郎君ノ議員資格ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(松田正久君) 開會致シマス、福島縣郡部選出議員野木善三郎君ハ、本日初メテ登院ヲサレタルニ依リ、紹介ヲ致シマス

(野木善三郎君起立)

(拍手起ル)

○議長(松田正久君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

桂内閣總理大臣ヨリ左ノ通牒アリタリ

臺灣總督府事務官 峽 謙 齊 君

內務省所管事務政府委員被仰付 臺灣總督府財務局長 祝 辰 巳 君

內務省所管事務政府委員被仰付

貴族院ハ本院送付係ル政府提出案古社寺保存法第十六條ニ依リ國庫ヨリ支出スヘキ金額ニ關スル法律案、實用新案法案、煙草專賣局及製鐵所据置運轉資本

補足ニ關スル法律案、海軍工廠資金會計法案、國債證券及貯蓄債券ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案、國債證券價格計算ニ關スル法律案、在外帝國專管居

留地特別會計法中改正法律案、癩病豫防法案、(特第二號)明治三十七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

水産銀行設立ニ關スル建議案

提出者 森 茂 生 君

委員長理事左ノ通當選セラレタリ

市町村立小學校教育費國庫補助法及教育基金令ニ依ル沖繩縣ノ配賦金及配當金ノ仕拂殘額ヲ翌年度ニ繰越使用ニ關スル法律案

委員長 榎本大郎右衛門君

理事 松本恆之助君

罹災救助基金法中改正法律案外一件

委員長 根津嘉一郎君

理事 菅澤 重雄君

遠洋漁業獎勵法改正法律案

委員長 齋藤 珪次君

理事 早速 整爾君

逕查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案外一件

委員長 久保田與四郎君

理事 加瀬 禧 逸君

○議長(松田正久君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、米田實君ハ病氣ノ故ヲ以テ、古物商取締法中改正法律案外一件ノ委員ヲ、辭任ノ旨届出デラレマシタ、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

中我駐韓公使ノ手ヲ經テ韓國政府ニ提出セラレタル韓國荒蕪地拓殖案ノ成行ノ如キ此點ニ於テ大ニ國民ノ注意ヲ要スルモノニシテ我政府ノ之ニ對スル措置關係亦決シテ輕々ニ看過スヘカサルモノアリ是レ本質問書ヲ提出スル所以也ト云フ理由ヲ附シマシテ御尋テ政府ニ致シテ居リマシタノデゴザイマス、所ガ今日ニ至ルマデモ、未ダ之ニ對スル答辯ニ接シマセヌデゴザイマス、全體私ハ此壇上ニ登リテ、此理由ヲ說明シ、敢テ演說ヲスルト云フヤウナコトノ必要ヲ、認メテ居リマセヌデゴザイマス、此主意書、此理由書ニ依リテ、十分御答ヲ下サレ、又此以外ニ於テ、本員ガ別ニ此問題ヲ荒立テヤウト云フデモモゴザイマス、別ニ之ニ依リテ彈劾的ノ質問ヲ試ミヤウト云フ譯テモゴザイマス、又之ニ依リテ得ルコトヲ答辯ニ付イテ、其中カラ政府攻撃ノ資本ヲ見出サウト云フ考デモゴザイマス、故ニ此質問主意書、竝ニ其理由トシテ申シテ居リマス事柄以外ニ、是ヲ補足スルタメニ、演說ヲスルト云フ程ナ、必要ヲ、見ヌト考ヘテ居リマス事柄以外ニ、是ヲ補ガ未ダ答辯ガゴザイマセヌカラ或ハ意味ノ明瞭ナラザルトコロガアツテ、御答辯ガナイノカモ知ラヌトモ、考ヘテ見マスルヤウナコトデゴザイマス、又多少ツレバ說明スルトコロノ演說アル例トスルカラ、故ニツレバ特ツテ、御答辯ヲ政府ガシテ下サルト云フ事柄デ、アルカモ知ラナイト存ジマシタ故ニ、唯形式的ニ殆ド簡單ニチヨット申述バマスルノデゴザイマス、此問題ハ百二十銀行貸附事件ト、殆ド同時ニ起リマシタ、又世間ニ同時ニ傳ヘラレタ問題デゴザイマシテ、此二ツガ相並ニ出テ、相並ニデチラガ重イカト云フ位ニ、世上ノ物議ヲ惹起シタ問題デアリマス、然ルニ百二十銀行ノ事柄ニ付イテハ、質問書提出ト同時ニ、直チニ政府ノ答辯モゴザイマシタガ、之ニハ未ダ何トモゴザイマセヌデアリマス、ツレバ此事ヲ輕ニ看過スルコトガ出來ナイト云フコトハ、其頃吾々ハ新聞ニ現ハレタトコロデモ見マシテ、又其見タトコロニ依リマシテモ、亦本員ナドハ朝鮮ニ行キマシテ、アチラデ見タリ開イタリシタトコロノ事ニ依リマシテモ、又見ルトコロカラ致セバ、彼ノ京城ノ真中ノ鐘路ト云フ所ニ、韓民ノ何時モアスコニ集ツテ會合スル所、總テノ人ガ集ル所ノアスコニ持ツテ往リ、吾々ノ眼ニ著クモノガ掲ゲラレテゴザイマス、ツレバドウ云フコトデアルカト云フ、荒蕪地拓殖ト云フ事ニ付イテノ提案ガ出テ居ルガ、アレハ決シテ朝鮮ノ山川沼澤ヲ、日本人ニ讓ルコト云フモノデナイト云フコトヲ、趣意ナル詔勅ガゴザイマス、ツレバ私ガコチラニ來マスルノガ、十一月ノコトデアリマス、其時デモ尙掲ゲラレテアルヤウナ次第デ、韓國皇帝ガ能ク詔勅ヲ發シテ、人民ノ激昂ヲ鎮メナラズト云フ必要ヲ、見ル程ナ問題デアツタカト云フコトヲ、思ハシムルノデゴザイマス、ツレバ是ガ理由トシテ申述ベタ中ニモ、チヨット書イテゴザイマス通、朝鮮ト云フモノハ、私ガ申スマデモナク、今ヤ共ニ露西亞ヲ敵トシテ戰ツテ居ル、所謂「ベリヂエント」ノ我國ト共ニヤツテ居ルトコロノ國デゴザイマス、ツレバ日韓議定書ノコトヲ設定以來ト云フモノハ、其利害ヲ尙密著ニ共ニシテ居ルノデゴザイマシテ、今度ノ軍ト云フモノモ、其起リト云フモノハ、ヤハリツコカラ起テ來テ居ルノデアツテ、自分ノ鄰家カラ火ノ出タ時ニ、是ガタメニ類焼スルトコロノ害ニ、害ト云フモノハ、其火元ノ過失ガアルケレドモ、其害ノ度合ヲ云フトキハ、同程程度アル、等シク燒ケルノデアル、等シク財產ヲ失フノデアル、ツレバ同ト云フモノハ、同程ノ富源ヲ開發スルト云フ責任ハ、アノ議定書ニ依リテ、正ニ我國ニアルノミナラズ、其朝鮮ノ富源ヲ開發シテ得ルコトノ利益ト云フモノハ、ヤハリ同ジヤウニ我國ガ之ヲ得ルノデゴザイマス、我國民ノ福利ト云フ問題ニ大ナル關係ヲ有チマスノデゴザイマス、ツレバ此問題ハナカク、輕シク見ラレヌデゴザイマス、ツレバ故ニ此質問主意書ヲ提出シタノデゴザイマシテ、殆ド茲ニ書イテゴザイマス以外ニ、理由ハナイノデ、唯其中テ關係ト云フモノハ、ドウ云フコトノ關係ヲ云フノデアルカ、帝國政府ノ關係ト云フコトハ、ドウ云フ意味カト云フコトガアルカモ知レマセヌ、其關係ト云フ帝國政府ノ關係ヲ開キタイト申

○議長(松田正久君) 御異議ナシト呼フ者アリ

シマスルノハ、是ハ一個人ノ提案ノ如クニモ見エマスル、私共ノ開クトコロニ依リ、又コチ
ラニ居テ開キ、或ハ朝鮮ニ於テ開クトコロニ於テモ、イロ／＼デゴザイマス、長森藤吉郎
氏御自身ヲ提出サレタモノカ、韓國皇帝ニ謁見ナドヲ尋キガ希望致シマスル時ニ、公使
館ガ之ヲ取次ノ勞ヲ執リ周旋ノ勞ヲ執ルト云フ位ナ事柄デマリマス、ソレデ即チ一個人ノ
何カノ希望ガアツタキ、之ニ公使館ガ便宜ヲ與ヘテ、周旋ノ勞ヲ執テヤッタノデアルカ、
即チ全ク一個人ノ提案デアルカ、ソレトモ初メハ一個人デ始マッタコトデアルガ、後ニハ政
府ノ提案トシテ之ヲ持出シタモノデアルカ、ソレカラサウデナケレバ、全ク初メ政府ノ提案
デアデ、政府ノ考デアデ、長森君ハ其代理者タルニ過ギヌモノデアツタカ、即チ政府ノ提
案デアアルカ、斯ウ云フ關係ヲ聞キタイノデゴザイマス、其關係ト云フ意味ハ——ソレカラ之
ニ對シテ執ツタトコロノ措置ハ如何ナルコトデアツタカ、其起リハドウ云フモノデアツタカ、其
終リハドウ云フコトデアツタカ、現在ハドウ云フコトニナツテ居ルカ、其顛末經過ト云フモノ
ヲ、明瞭ニ承ハリタイノデゴザイマス、是ク申述ベテ、政府ガ此質問ニ對シテ明瞭ニ御答
下サルコトヲ、希望致スノデゴザイマス

○議長(松田正久君) 是ヨリ議事日程ニ移テ會議ヲ開キマス、日程第一地租條例
中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——期讀ハ省略シマス

第一 地租條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第四條 左ニ掲グル土地ニ付テハ其地租ヲ免ス

- 一 國府縣郡市町村其他勅令ヲ以テ指定スル公共團體ニ於テ公用又ハ公
共ノ用ニ供スル土地但有料借地ハ此限ニ在ラス
- 二 府縣郡市町村其他勅令ヲ以テ指定スル公共團體カ公用又ハ公共ノ用
ニ供スヘキモノト定メタル其所有地但命令ノ定ムル期間内ニ公用又
ハ公共ノ用ニ供セサルトキハ此限ニ在ラス

三 鄉村社地

四 墳墓地

五 用惡水路、溜池、隄塘、井溝

六 鐵道用地

七 保安林

八 公衆ノ用ニ供スル道路

府縣郡市町村其他ノ公共團體ハ前項ノ土地ニ租稅其他ノ公課ヲ課スルコ
トヲ得ス但所有者以外ノ者前項第一號又ハ第二號ノ土地ヲ使用收益スル
場合ニ於テ其土地ニ對シ使用者ニ租稅其他ノ公課ヲ課スルハ此限ニ在ラ
ス

第十二條 削除

第十三條 地租ハ左ニ掲グル者ヨリ之ヲ徵收ス

- 一 質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者
- 二 百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ地上
權者

三 其他ノ土地ニ付テハ所有者
前項ニ於テ質權者、地上權者、所有者ト稱スルハ土地臺帳ニ質權者、地上
權者、所有者トシテ登錄セラレタル者ヲ謂フ

附則

本法中第十三條第一項第二號ハ明治三十八年分地租ヨリ之ヲ施行ス
明治三十一年法律第四號及明治三十三年法律第十九號ハ之ヲ廢止ス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 公用又ハ公共ノ用ニ供シテ、ゴザイマス土地ハ、其地
租ヲ免ズルノガ相當デゴザイマスノデ、今日既ニ大部分ハ免租ニナツテ居リマスガ、併シ規
程ニ不備ナトコロガゴザイマスヌメニ、又彼是權衡ヲ得ナイモノガアリマス、ソレデ之ニ關ス
ル規定ヲ、地租條例ノ第四條ノ免租ニ關スル規程ノトコロニ入レマシテ、サウシテ此法
律ノ不備ヲ點ヲ補ヒタイと思ヒマス、又地租條例ノ出來マシタ當時ニ於テハ、地上權ト
云フ權利ハゴザイマセヌノデアツタノデアリマスガ、民法ニ依ツテ地上權ト云フモノガ出來
マシテ、サウシテ其地上權ハ、民法ニ於テハ年限ガ限ツテアリマセヌヌメニ、甚シキハ二千
五百年ノ期限ヲ以テ、地上權ヲ設定シタモノモアリ、又千年若クハ九百九十九年ト云フ
ヤウナ期限ヲ以テ、地上權ヲ設定シタモノガゴザイマス、斯様ナモノニ至リマス、地上權
ヲ有ツテ居ルモノガ、殆ド所有權ト同ジ位ノ利益ヲ得ルノデアデ、其後トノ處有權ヲ有
テ居ルモノハ、殆ド利益ガナイ位ノモノデアリマス、從ツテ其者カラ地租ヲ徵收シヤウト致
シマシテモ、滞納シタ場合ノ如キハ、殆ド何モ取ルコトガ出來ヌト云フヤウナコトニナリマス、
ソレデ斯様ナ事實ニテ參テ以上ハ、此現狀ニ照シテ、適當ニ改正ヲスル必要ガアル、ソ
レデ長年限ノ地上權ヲ有ツテ居ル其人カラ、地租ヲ取ルガ宜シイ、斯ウ云フノデ、地租
條例ノ改正ヲ致シマシタ、是ガ本案ヲ提出ニナツタ次第デゴザイマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ日程第二ニ移リマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ、九名ノ委員ヲ、議長指名ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議ノ如ク、本案ハ議長指名
ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、——議事日程第三北海道一級町村及二級
町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、期讀ハ省略
致シマス、若槻政府委員

第三 北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲 第一讀會

入ヲ徵收セシムル法律案(政府提出)

第一條 北海道廳長官ハ北海道ニ於ケル一級町村及二級町村ヲシテ其ノ町
村内ノ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ其ノ町村ニ交付スヘシ

第二條 町村ハ避テヘカラサル災害ニ因リ既收ノ歲入金ヲ失ヒタルトキハ

其ノ事實ヲ證明シ大藏大臣ニ其ノ責任免除ヲ請フコトヲ得
前項ノ申出アリタルトキハ大藏大臣ハ其ノ事實ヲ審査シ其ノ免除ヲ爲ス
コトヲ得

附則

本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 北海道ニハ、從來町村ニ大抵戸長ト云フモノガゴザイ
マシテ、戸長ハ即チ官吏デゴザイマス、故ニ租稅外ノ收入ヲ皆戸長ガ取ツテ居リマシタ
トコロガ、一級町村制、或ハ二級町村制ト云フヤウナ制度ヲ布キマシタメニ、皆此戸
長ト云フモノガ、大部分ニ於テナクナリマシタ、從テ租稅外ノ收入ト云フモノハ、町村デ
ハ取レマセヌ、租稅外ノ收入ノ中テ重モナルモノヲ申上ケマス、山林ノ木ノ拂下ノヤウ
ナモノデアッテ、拂下ノ代金ヲ納メルタメニハ、數十里モアル支廳ト云フ所マデ往カナケレ
バナラヌト云フ、不便ニナラズ居リマス、ソレデヤハリ法律ヲ以テ、此町村テ是等ノ收入ヲ
取ルコトガ出來マスルヤウニスル方ガ、便利デアリマス、故ニ本案ヲ提出致シマシタ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ日程ノ第四ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ九名ノ委員議長指名ニ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ恆松君動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委
員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第五所得稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマ
ス、朗讀ハ省略シマス、若槻政府委員

第五 所得稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

所得稅法中左ノ通改正ス

第二條中「營業又ハ職業」ヲ「又ハ營業」ニ改ム

第八條ニ左ノ一項ヲ加フ

納稅義務者ニシテ其ノ所得金額ニ付所得調查委員會ノ調査ヲ經ルヲ欲セ
サル者ハ前項ノ申告ト同時ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

第九條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ前條第二項ノ申出アルモノニ付テハ調査委員會ノ調査ヲ經スシテ之
ヲ決定ス

第十條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ前條第一項但書ニ依ルヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 各稅務署所轄内ニ所得調查委員會ヲ置ク但シ稅務署所轄内ニ在
ル市又ハ北海道ノ區ニ付テハ命令ヲ以テ特ニ調査委員會ヲ置クコトヲ得

調査委員ノ定數ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム但シ定數ノ増減ハ改選期ニ於テス
ルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 調査委員ノ選舉區域ハ調査委員會ヲ置クヘキ區域ニ依リ調査委
員選舉人ノ選舉區域ハ市町村及北海道ノ區域ニ依ル但シ東京市、京都市
及大阪市ニ在リテハ區ノ區域ニ依ル

第十四條及第十五條中「第八條ノ申告ヲ爲シタル者」ヲ「前年所得稅ヲ納メ
タル者」ニシテ第八條第一項ノ申告ヲ爲シタル者」ニ改ム

第二十四條ニ左ノ二項ヲ加フ

調査委員ノ定數ヲ増加シタル場合ニ於テ新ニ選舉セラレヘキ調査委員ノ
任期ヲ定ムル必要アルトキハ稅務署長之ヲ定メ選舉期日ト共ニ之ヲ公示
ス

調査委員ノ定數ヲ減少シタル場合ニ於テ退任者ヲ定ムル必要アルトキ又
ハ前項ニ依リ調査委員ヲ増加シタル場合ニ於テ各調査委員ノ任期ヲ定ム
ル必要アルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條 調査委員會ノ開會日數ハ十五日以内トス

第三十條 八月十五日迄ニ調査委員會成立セサルカ又ハ同日迄ニ若ハ調
査委員會開會ノ日ヨリ十五日以内ニ調査終了セサルトキハ所得金額調査
未済ノモノニ付テハ政府其ノ所得金額ヲ決定ス

第三十一條中「十五日」ヲ「五日」ニ改ム

第三十四條ノ二 稅務署長又ハ其ノ代理官ハ調査上必要アルトキハ納稅義
務者又ハ納稅義務アリト認ムル者ニ金錢又ハ物品ヲ支拂フノ義務ヲ有ス
ト認ムル者ニ對シ其ノ金額、數量、價額又ハ支拂期日ニ付質問スルコト
ヲ得

稅務署長又ハ其ノ代理官ハ前項ニ該當スル者ヲシテ調査ニ必要ナル帳簿
書類ノ呈示ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十二條第三項ヲ左ノ如ク改ム

第三種ノ所得ニ付テハ所得稅ノ年額ヲ四分シ左ノ四期ニ於テ之ヲ徵收ス
但シ納稅者納稅管理人ヲ定メスシテ帝國外ニ住所若ハ居所ヲ移ストキハ
其ノ際直ニ其ノ所得稅ヲ徵收スルコトヲ得

第一期 其ノ年九月一日ヨリ三十日限

第二期 其ノ年十月一日ヨリ三十一日限

第三期 翌年一月一日ヨリ三十一日限

第四期 翌年三月一日ヨリ三十一日限

第四十四條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ住所以外ニ在ル納稅者ハ申告シテ居所地ニ於テ所得稅ヲ納ムルコ
トヲ得

附則

本法ハ明治三十八年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 本案ハ箇條ハ多ウゴザイマスガ、又細カイ改正ハ點々

ゴザイマスケレドモ、改正ノ重モナルモノハ、此市ト、市以外ノ郡部トニ分ケテ、所得税調
 査委員ヲ設クルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ點ト、今一ツハ所得税ノ納期ガ、現行法デハ
 二度ニナツテ居リマスガ、之ヲ四期ニ分ケテ、四遍ニ所得税ヲ取ルト云フヤウニ致シマシ
 タト云フコトガ、改正ノ重モナル點デゴザイマス、ドウカ御協賛ヲ願ヒマス

○鈴木總兵衛君(三百六十四番) 政府委員ニ質問致シマス、此第八條ニ左ノ一
 項ヲ加フ「ト云フ事柄ハ」調査委員會ノ調査ヲ經ルヲ欲セザルモノハ前項ノ申告ト同時
 ニ其旨ヲ届出ツヘシ」ト云フ、此調査ヲ欲セザルト云フノハドウ云フノデゴザイマス、ソレカ
 ラ第二十五條ノ「調査委員會ノ開會日數ハ十五日以内トス」トアリマス、是ハ地方ニ依
 リマシテハ、或ハ千人以上ノ所モアリ、所ニ依テハ一万人以上ノ所モアル、是等ニ對シ
 テ同一二十五日以内ト云フコトノ制限ヲ設ケテ置クト云フコトハ、實際ニ於テ差支ガアル
 ト思ヒマスガ、是ハドウ云フ御考ヲ御提出ニナリマシタカト云フ、二點ヲ伺ヒタイ

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕
 ○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ納税者ノ中デ、人ニ依リマス、自分ノ商機ノ秘
 密ヲ保ツタメニ、調査委員ニ調査セラレルト云フコトヲ好マナイト云フモノガゴザイマス、サウ云フ
 モノガ其旨ヲ申出タナラバ、調査委員ニ掛ケヌデ、政府テ決定シテシマフト云フノガ、此
 八條九條ノ修正ノ趣意デゴザイマス、ソレカラ調査ノ日限ヲ十五日ニ限リマシタノハ、御
 承知ノ如ク明治三十二年所得税法ノ全部ノ改正ヲ致シマシタ前ニハ、ヤハリ調査期間
 ハ十五日以内ト云フコトニ、大藏省ガ訓令ヲ設ケテ、限ツテ居ッタノデゴザイマス、其實驗ガ
 ゴザイマスカラ、ソレデ今同モ丁度十五日ニ限ツテ、而シテ經費ヲ節約シテ、其經費ヲ以テ
 市郡ニ別ツテ、調査委員會ヲ設ケルト云フコトノ方(當アヤウト、斯様考ヘタノデゴザイマス
 ○議長(松田正久君) 御發言ガナケレバ、議事日程ノ第六ニ移リマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 ○恆松隆慶君(百五十番) 是モ九名ノ委員、議長指名ヲ希望致シマス
 ○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
 〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
 ○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委
 員ニ付託スルコトニ決シマス——議事日程第七輸入原料砂糖戻税法中改正法律案
 ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス、若槻政府委員

第七 輸入原料砂糖戻税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
 輸入原料砂糖戻税法中左ノ通改正ス
 第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム
 輸入ノ砂糖ニシテ和蘭標本色相第十四號以下ノモノヲ原料トシ政府ノ承
 認ヲ得テ精製糖及氷砂糖ヲ製造シタル者ハ其ノ原料砂糖ノ數量ヨリ製造
 ノ際生成シタル和蘭標本色相第十四號以下ノ砂糖ノ數量ヲ控除シタル數
 量ニ對シ納付シタル輸入税ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコト
 ヲ得

〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕
 ○政府委員(若槻禮次郎君) 外國カラ輸入致シマシタ砂糖デ、精製糖ヲ造リマス
 云フト、元ノ砂糖ニハ税金ヲ戻スト云フノガ、現行法ノ規定デゴザイマス、是ハ粗末ナ砂
 糖ヲ以テ、良イ砂糖ヲ造ル故ニ、其精製糖事業ノ獎勵ノタメニ出來テ居ルノデゴザイマ
 ス、然ルニ精製糖ヲ造ラヌデ、ヤハリ粗末ナ砂糖其儘デ、一部分ヲ賣ルモノガゴザイマス、
 ソレニマテ戻税ヲ致シマス、結局外國カラ這入りマス砂糖ニ、マルテ關稅ヲ免ジタノト
 同様ナ結果ニナリマス、ソレデ粗製糖ノ儘デ出ル物ハ、差引イテ戻税ヲスル、斯ウ云フノ
 ガ本案ノ趣意デゴザイマス
 ○議長(松田正久君) 御發言ガナケレバ、議事日程ノ第八ニ移リマス

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 ○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ九名ノ委員議長指名ヲ願ヒマス
 ○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
 〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
 ○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ恆松君ノ動議ノ如ク決定シマス——議事
 日程第九砂糖消費税法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス、若
 槻政府委員

第九 砂糖消費税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
 砂糖消費税法中左ノ通改正ス
 第十一條ノ一第三項ニ左ノ但書ヲ加フ
 但シ災害ニ因リ亡失シタルモノニシテ政府ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ
 限ニ在ラス
 〔政府委員若槻禮次郎君登壇〕
 ○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ極簡單ナンデゴザイマスガ、詰リ現行法デハ一旦
 原料等ノ承認ヲ受ケテ、免租トナリマシタモノガ、六箇月間ニ精製セラレヌト、ドンナ事情
 ニ依ツテモ、總テ税ヲ取ルコトニナツテ居リマス、從ツテ現ニ天災ニ依ツテ、ソレガナクナツタノ
 ガ明カニナツテ居リマシテモ、尙税金ヲ取ルコトニナツテ居リマスカラ、ソレデハ不公平デア
 カラ、全ク災害ニ罹ラシタコトノ認メラレルモノハ、免稅スルト云フノガ、改正案ノ
 要點デゴザイマス
 ○議長(松田正久君) 御發言ガナケレバ、議事日程ノ第十二移リマス

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
 ○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ前ノ委員ニ付託セラレシコトヲ希望致シマス
 ○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
 〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
 ○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議ノ如ク、前ノ委員ニ付託スルコ
 トニ決シマス——議事日程第十一賣藥税法案ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シ
 マス、若槻政府委員

官報號外 明治三十八年一月二十七日 衆議院議事速記録第十一號 議事日程第五乃至第十ノ件 一三九

第十一 賣藥稅法案(政府提出)

第一讀會

賣藥稅法

第一條 賣藥ニハ左ノ割合ニ從ヒ賣藥稅ヲ課ス

定價一錢迄 賣藥稅一厘

定價二錢迄 賣藥稅二厘

定價三錢迄 賣藥稅三厘

定價五錢迄 賣藥稅五厘

定價十錢迄 賣藥稅一錢

定價十錢ヲ超ユルトキハ定價五錢迄ヲ増ス毎ニ賣藥稅五厘ヲ増加ス

第二條 賣藥稅ハ印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス

第三條 賣藥營業者ハ賣藥ノ容器又ハ包紙等ニ定價ヲ附記シ其ノ賣藥稅ニ相當スル印紙ヲ貼用シ印紙面ヨリ他所ニカケ消印スヘシ

第四條 賣藥營業者ハ賣藥ノ容器又ハ包紙等ニ貼用印紙ヲ破毀スルニ非サレハ賣藥ヲ取出スコトヲ得サルノ裝置ヲ爲スヘシ

第五條 賣藥營業者定價ヲ増加シテ賣藥ヲ販賣セムトスルトキハ其ノ定價ヲ改記シ其ノ賣藥稅ニ相當スル印紙ヲ増貼スヘシ

第六條 賣藥營業者ハ帳簿ヲ調製シ賣藥ノ製造出入ニ關スル事實ヲ詳細明瞭ニ記載スヘシ

第七條 賣藥營業者ハ相當印紙ノ貼用ナキ賣藥、第三條ニ依リ貼用印紙ニ消印ヲ爲ササル賣藥又ハ第四條ノ裝置ヲ爲ササル賣藥ヲ所持スルトコトヲ得ス

第八條 收稅官吏ハ賣藥營業者前條ニ違反シタルコトヲ發見スルトキハ處罰セラレタルト否トヲ問ハス賣藥營業者ノ費用ヲ以テ印紙ヲ貼用シ、貼用印紙ニ消印シ又ハ相當ノ裝置ヲ爲スコトヲ得

前項ノ費用徵收ニハ國稅徵收法ノ規定ヲ準用ス

第九條 收稅官吏ハ賣藥ノ所在ニ就キ檢査ヲ爲シ又ハ賣藥營業者ノ帳簿書類ヲ檢閱スルトコトヲ得

第十條 外國ニ輸出スル賣藥ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ賣藥稅ヲ免除ス

前項ノ賣藥ニ付テハ第二條乃至第五條、第七條、第八條及第十一條乃至第十三條ヲ適用セズ

第十一條 賣藥營業者ニシテ所持ノ賣藥中性效ヲ失シタルモノヲ廢棄セムトスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ既貼印紙ト新印紙トノ交換ヲ請求スルコトヲ得

第十二條 賣藥營業者相當印紙ノ貼用ナキ賣藥ヲ販賣シ又ハ附記定價以上ニ賣藥ヲ販賣シタルトキハ脫稅高二十倍ノ罰金ニ處ス但シ脫稅高二十倍ノ金額五圓ニ達セサルトキハ五圓ノ罰金ニ處ス

賣藥營業者定價ヲ附記セサル賣藥ヲ販賣シタルトキハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス因リテ脫稅ヲ爲シタル者ハ前項ニ依リテ處斷ス

第十三條 賣藥營業者相當印紙ノ貼用ナキ賣藥ヲ所持シタルトキハ五圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處シ第三條ニ依リ貼用印紙ニ消印ヲ爲ササル賣藥又ハ第四條ノ裝置ヲ爲ササル賣藥ヲ所持シ又ハ販賣シタルトキハ三圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 賣藥營業者賣藥ノ製造出入ニ關スル帳簿書類ヲ隱匿シタルトキハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ帳簿ヲ調製セズ又ハ其ノ記載ヲ怠リ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 收稅官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ收稅官吏ノ職務執行ヲ拒ミ、之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第十六條 本法ノ規定ニ違反シタル者ニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第十七條 賣藥營業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法ノ規定ニ依リ賣藥營業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 賣藥營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第十九條 賣藥類似品及其ノ營業者ニ關シテハ本法ノ規定ヲ準用ス

第二十條 本法中營業者ニ關スル規定ハ請買者及行商者ニ之ヲ準用ス

附則

賣藥印紙稅規則ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ際販賣ノ爲賣藥類似品ヲ所持スル者ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以内ニ本法第二條及第四條ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 此賣藥稅法ト云ヒマスノハ、賣藥印紙稅規則ト云フモノ、詰リ改正案デゴザイマスノデ、賣藥印紙稅規則ト云ヒマスノハ、明治十五年ニ出來タ法律デゴザイマスカラ、餘程今日ノ立法セラル、諸種ノ法律ニ比ベマスト云フト、規定ガ不十分デゴザイマス、ソレデ今回ノ改正案スノデゴザイマスガ、稅率ハ全ク前法律ト同様デ、少シモ是ハ動カシテゴザイマセズ、而シテ改正案ノ殊ニ要點ヲ申上ゲマスト云フト、現行法デハ、外國ニ輸出セラレル賣藥ニハ、免稅スル規定ガゴザイマセズ、ソレ故ニ外國へ出ルモノデアッデモ、總テ稅ヲ取ルコトニナッテ居リマスガ、此改正案ニ依ッテ外國へ輸出致シマスモノハ、稅ヲ免ズルコトニシテ、外國輸出ヲ成ベク多クシタイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、細カイ點ハ、イッレ委員會デ申シ上ゲマスカ、要點ハ其處ニア

ルノデゴザイマス

○議長(松田正久君) 御發言ガナケレバ、日程第十二ヲ議題ニ供シマス

(六)

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案モ九名ノ委員、議長指名ヲ願ヒマス
○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス。議事日程第十二不動産登記法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス、若槻政府委員

第十三 不動産登記法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第一讀會

不動産登記法中左ノ通改正ス
第十一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

登記所ハ土地ニ付キ左ニ掲ケタル事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ土地臺帳所管廳ニ通知スルコトヲ要ス

一 所有權ノ保存若クハ移轉

二 質權ノ設定、移轉若クハ消滅

三 百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ設定、移轉若クハ消滅又ハ百年ヨリ長キ存續期間ヲ百年以下ニ變更シ若クハ百年以下ノ存續期間ヲ百年ヨリ長キ期間ニ變更シ又ハ存續期間ノ定ナキ地上權ニ百年ヨリ長キ期間ヲ定メ若クハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ヲ存續期間ノ定ナキモノト爲シタルコト

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 本案ハ實ハ此專ラ不動産登記法 關係シタ法文デアハゴザイマスガ、前ニ説明ラ致シマシタ地租條例ノ改正ニ伴フテ、不動産登記法ヲ改正スルノデゴザイマスノデ、地租條例ガ前ノ法案ノ如ク決定致サレマスト、此不動産登記法モ、此改正案ノ如ク直ス必要ガアルノデゴザイマス

○議長(松田正久君) 御發言ガナケレバ、議事日程第十四ヲ議題ニ供シマス

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 此案モ九名ノ委員、議長指名ヲ希望致シマス
○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ御異議アリマセカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 日程第十五カラ第二十四マデハ、一括シテ議題トセラレンコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 議事日程第十五ヨリ二十四マデハ豫備金ノ支出、若クハ豫算超過ノ支出、又豫算外ノ支出デアリマシテ、總テ同性質ノモノデアリマスカラ、今恆松君ノ動議モ出テ居リマシ、一括シテ議題ニ供シテ宜カラウト思ヒマスルガ、御異議ハアリマセカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ十五ヨリ二十四マデハ、一括致シテ議題ニ供シマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、荒井政府委員

第十五 明治三十五年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十七 明治三十五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十九 明治三十五年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十一 明治三十五年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第二十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十三 明治三十五年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第二十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十五 明治三十六年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第二十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十七 明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第二十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十九 明治三十六年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第三十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三十一 明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第三十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三十三 明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(政府提出)

第三十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

(政府委員荒井賢太郎君登壇)

○政府委員(荒井賢太郎君) 唯今日程ニ上リマシタ諸案ハ、過グル三十五年度及三十六年度ニ於キマシテ、豫備金其他ノモノニ於キマシテ、豫算外ノ支出ヲ致シマシタリ、若クハ豫算ノ超過ノ支出ヲ致シマシタ事ニ付キマシテ、事後承諾ヲ求メマシタルタメニ提出ラ致シマシタ、是ハ兩年度通ジテ提出ラ致シマシタノハ、三十五年度ノ支出ハ、前議會ニ提出スルコトノ機會ガナカッタガタメニ、當議會ニ於テ兩年度ヲ通ジテ提出ラ致シマシタノデゴザイマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ十八名ノ委員、議長指名ヲ希望シマス
○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ハ、十五ヨリ二十四ニ至ルマデノ議案ニ付イテ、十八名ノ同一委員ニ付託シタイト云フコトデゴザイマスガ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、恆松君ノ動議ノ如ク、十八名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——議事日程第三十五佐竹作太郎君根津嘉一郎君ノ議員資格ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三十五 佐竹作太郎君根津嘉一郎君ノ議員資格ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○江藤新作君(二百十九番) 本案ハ十八名ノ委員ニ致シマシテ、各部ニ於テ選舉ヲ致シ、而シテ通算スルコトニ致シタイ、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 江藤新作君ノ動議、即チ本案ハ十八名ノ委員ト致シマシテ、各部ニ於テ選舉ヲ致スト云フコトデアリマスガ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ江藤新作君ノ動議ノ如ク決定致シマス——江藤君ニ御照會致シマスガ、此委員ハ本日直チニ選舉スルコトニ致シタイデアリマスルガ、御異議アリマセヌカ

○江藤新作君(二百十九番) 直チニ選舉致スコトノ希望デアリマス
○議長(松田正久君) 然ラバ直ニ各部ニ於テ選舉サル、コトヲ希望致シマス——報告アリマス

〔書記朗讀〕
森肇君ヨリ司法行政二大權ノ統一及官吏辭表副奏拒絕ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
司法行政二大權ノ統一及官吏辭表副奏拒絕ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十八年一月二十六日
提出者 森 肇
贊成者 奥野 市次郎
外三十名

司法行政二大權ノ統一及官吏辭表副奏拒絕ニ關スル質問主意書
千葉地方裁判所檢察事紀志嘉實ハ本年九月二十五日曾テ司法大臣ノ與ヘタル檢務上ノ指揮ヲ不當トシ且司法行政兩部機關ノ統一ナキハ偶々司直ノ威信ヲ損フモノトシ別册辭職願及ヒ上表ヲ提出シテ退官ノ意思ヲ上達シタルニ司法大臣ハ該辭職願ヲ相當ト認メ之レカ奏請ノ手續ヲ爲シタルニ拘ハラス内閣總理大臣ハ故ナク副奏ヲ拒否シ今ニ至ルモ何等ノ處分ヲ與ヘスト聞ク依テ左記各項ノ答辯ヲ求ム

一別册上表ニ記載セル東條良平被告事件ニ關スル司法大臣ノ處分ハ監督權ノ發動ニ因ル命令ナルカ命令ナリトスレハ政府ハ司法大臣ノ有スル監督權ハ本件ノ如キ或特定ノ事按ニ關シ尙ホ檢務ヲ左右シ得ルマデニ其範圍廣域ナリト認ムル乎ニ假リニ法制上前項ノ如キ指揮權ヲ有スルモノトスルモ本件ノ如キ著シキ事案ニ關シ故ラニ起訴ヲ許サ、リシ理由如何
三政府ハ曩ニ司法機關ノ或審級ニ於テ罪人視シタル者(例ヘハ宗像政、齋藤熊太郎、阿南尙、川島純幹等)ヲ幾許モナクシテ薦メテ牧民其他ノ要職ニ舉タルハ公秩上若クハ風教上有害ノ措置トハ認メサル乎將タ審級ノ認定ニ著シキ過誤アリト爲シ一旦被告タリシ者ヲ推舉シタリトセハ當該判檢事ニ對シ何等カノ戒飭ヲ加ヘタル乎
四官吏ノ辭職理由ハ種々ナル外界ノ事情ニ基因シ敢テ限定的ノモノニアラス然ルニ主務大臣ニ於テ紀志檢察事ノ辭職願ヲ奏請スルニ際リ内閣總理大臣ハ徒ラニ形式ノ未ニ拘ハリ恆例ヲ盾トシ副奏ヲ拒否シタルハ如何ノ消息ニ出テタル乎
辭職願
小官義
信念ヲ賊シ職責ヲ曠ウシテ祿ニ安ニスルハ忍ビ難キ處ニ有之別ニ司法大臣宛ヲ以テ提出シタル上表ノ趣旨ニ依リ現官職辭退仕候間免官相成度奉願候也
明治三十七年九月二十五日
檢事 紀志 嘉實
上表
小官義

服從ノ義務アル職ニ居ナカラ絶對的服從ハ必スシモ職ニ忠ナルモノニアラストノ信念ヲ枉クル能ハス茲ニ奉仕ヲ辭スルニ當リ謹シテ知レル所ヲ上疏シ一切閣下及閣下督勵ノ下ニ在ル有志各位ノ省慮ヲ請ハントス而モ這般ノ舉ハ素ヨリ外ニ典例ヲ死守シ内權勢ニ阿附スルヲ以テ一代ノ能事トセル江湖才人ノ嘲笑ニ値スヘキハ夙ニ小官ノ自覺セル所庶幾ハ唯夫レ閣下至忠ノ實裁ニ待アラシム
伏テ惟ルニ一國ノ興亡ハ繫リテ二柄ノ行用其衡ヲ得ルト否ト是レ因ル蓋シ行實用刑ハ固ト治ノ以ニアラス若シ勸賞ヲ用ヒス刑罰ナクシテ能ク正教ヲ保持スルヲ得ハ寔ニ治術ノ上乘タリ宜哉古聖ノ惟刑之恤哉ト言ヘルヤ而モ刑無キヲ期スルハ刑ヲ用ヒテ始メテ望ムヘキ也用刑ノ勿論ニ付スヘカサル亦多ク言フ要セス
願レハ二昨歲暮小官ノ入リテ現職ニ就クヤ子ヤノ微尚治權ノ一角ニ備リ將ニ勃興セントセル神州蒼生ノ爲ニ敢テ涓滴ノ誠ヲ共安寧ノ上ニ加フルヲ榮トシ幸トシテ如上ノ信念ヲ持シ十年欽シテ職ニ殉セシコトヲ私期セリ底事ソ不幸今ノ綱紀ノ弛廢セルコトノ深甚ナル
小官ハ始メ任ニ浦和ニ赴キ尋テ昨年六月千葉ニ轉補セラレ其月十五日上長ノ特命ヲ仰リ積年縣下ニ横溢セル政治的混濁ヲ一掃センコトヲ企圖シ次日纔カニ其緒ヲ得テヨリ日夜西東ニ馳驅シ約旬日ニシテ略ホ豫定搜查ノ第一期ヲ了リ進テ第二期ニ入ラントスルニ際ニ偶々一ノ蹉跌ヲ來セリ他ナン同月二十七日千葉縣書記官川島純幹ノ收賄罪ヲ檢舉セントシタルニ之カ認可ヲ與ヘラレサリシコト即チ是ナリ由來憲政治下ニ於ケル最大危害ハ多數黨與ヲ憑ミ安リニ私營ヲ擅マニセントスル

者ノ抱合ヨリ甚シキハナシ而モ上ニ高潔ナル吏人ノ在ル有リ操守位ニ居リ以テ匪徒ノ橫暴ヲ抑制スルヲ得テ民甫メテ安カレヘキモ一朝匪徒ト臭フ同ウシ專ラ其歡心ヲ沽フニ汲々タルモノヲ擧ゲテ要路ニ當ラシメシカ民ハ虎狼ノ狀襲フ被ルモノト何ツ擇ハシテ往五六年間ニ於ケル千葉縣治ノ非違ノ如キ其最モ甚シキモノニシテ知事阿部浩ハ政友會千葉支部ノ牛耳ヲ執レル千葉縣治ノ東條良平以下二三ノ徒ト結托シ私營縱橫毒ノ及フ所殆ント底止ナカラントスルニ當リ浩ハ端テ新瀉縣知事ニ榮轉シタルモ桀驁ノ徒尙彼カ餘澤ヲ偲ヒ相呼應シテ往々非望ヲ企ツル者アリ遂ニ穩健ナル龍川檢事正ヲシテ柄ヲ執テ起ツノ止ムナキヲ感スルニ至ラシメ又獄ノ起因ヤ夫レ此ノ如シ其波及スル所ノ大ナル亦以テ察スベキ也從テ純幹檢舉ノ如キハ取リ直サス將ヲ擊タントシテ先ツ馬ヲ射ルノ類ノミ然ルヲ尙之ヲスラ認可セラレス當時私カニ以爲ラソ凡ソ檢務ノ統一ヲ畫シ居民ノ幸福ヲ一ナラシムルハ司直ノ最高要務トシテ良平ノ此ニ留意ヲ厚ウスルハ固ヨリ其所ナリト雖其間荷モ閣運ノ消長ヲ顧念シテヲニ内外ノ公敵ヲ憚リ溫柔是レ事トスルカ如キハ他ノ行政機關ニ於テハ縱然假籍セラレヘキモ司直機關ニ於テハ斷シテ之ヲ容ルヘカラス今夫レ區々一小吏ノ上ニスラ豫メ異日ノ波及ヲ慮カリ漫然斯種ノ干渉ヲ敢テセラル況ンヤ是ニ此備ヲ作ラハ他年政黨者流ノ出テ戴キ事政府者ノ黨與若クハ其憚ル處ノ者ニ關スル場合ニ逢著セハ我司直ノ前途ヤ寧ろ寒心ニ勝フヘカラスト尋テ不認可ノ令ニ抗シ重テ稟請セシコトヲ決シ檢事正カ再應登省セルノ日内務ハ曾テ東京地方裁判所檢事ニ訴追セラレ豫審ハ有罪ニ決セラレ一審ニ於テ無罪ノ判決ヲ得タル宗像政ヲ薦メ卒カニ高知縣知事ニ任セリ報ヲ見テ小官ハ勢ヒ掛冠ノ意ヲ決セザル能ハサリキ當時復以爲ラソ抑モ國務ノ要決ハ常ニ各部機關ノ統一ヲ圖ルニ在ルヤ論ナシ何ソ期セン昨ハ甲ノ機關ニ於テ吏人トシテ最モ厭フヘキ收賄ノ罪アリト目セラレタル者今乙ノ機關ニ於テ牧民ノ重職ヲ授ケラル而カモ訴追ノ内容ニシテ某ノ復官ヲ相當トスヘクンハ罪ハ原告官ノ妄舉ニ歸セザルヘカラス然リ事態兩立シ難クシテ而シテ甲ハ賞ヲ賜ヒ乙ハ高官ヲ受ク其統一ナクシテ賞罰ノ炳カナラサル深ク國家ノ憂ト爲スヘキ何ソ況ンヤ自己ノ不徳ト醜辱ノ何タルヲ解セス苟モ與ヘラレハ恬然其位ニ就テ漫リニ民ヲ辱カシムル者多キ治下ニ處シ職ニ司直ノ公正ヲ保チ毅然トシテ信念ヲ遂行センコトハ得テ望ムヘカラスト同日辭表ヲ上リタルモ後ヲ認可ノ恩命ヲ辱ウシ更ニ他方面ノ搜查ニ著手シタルモ此間數日ヲ曠ウシテ機宜ヲ失シタルモノ亦妙シトセテ超テ七月十五日漸クニシテ檢舉シタル東條良平ノ事ヤ即チ今者小官カ辭意ヲ固ウスルニ至レル主因也願クハ閣下ノ再顧ヲ得ン

良平ハ素ト千葉政友派ノ領袖トシテ禎太郎等ト共ニ夙ニ浩ト握手シ橫肆百出ニ州ノ山河ハ舉テ彼徒私曲ノ好舞臺タリシハ上下稍時務ニ通セル者ノ久シク痛歎セル所果然小官カ掃蕩ノ特命ヲ帶フルヤ眼中指點セルモノ豈多ク他ニ出テヤ而シテ僅カニ一頭ヲ獲挽テ巨魚ヲ網セントセルニ際シ波及ノ大ニシテ獄ノ容易ナラサルモノアルヲ見ルニ及ヒ搜查ノ手ハ問接ニ扼セラレテ亦伸フル能ハス止ムナク自ラ無能ヲ憫ミツ、獄ハ龍頭蛇尾ニシテ一段落ヲ告ケキ所謂土木費問題ノ如キハ當サニ彼徒私曲ノ反影ニシテ爲メニ幾多良民ノ毒毒セラレタルモノ擧ゲテ枚フヘカラス然ルニ良平ニ對シ訴追シタル瀆職法違犯及詐欺取財ノ二件ハ共ニ一審ニ於テ有罪ノ判決ヲ受ケシモ二

審ニ至リ前者ハ小官ノ甚シキ不注意ニ基因シ起訴狀ニ契印ナカリシ爲メ公訴不受理トナリ後者ハ證據不十分トシテ無罪ノ判決ヲ與ヘラレタリ而モ無罪ヲ言渡シタル裁判ノ當否ハ固ヨリ小官ノ讓ヲ容ルヘキニアラスト雖トモ一タヒ不受理ノ確定セル以上ハ下級檢事タル小官ハ再起訴ヲ爲シ以テ司直ノ公正ヲ保ツノ外ナキヲ信セリ斯クシテ一件記録ノ歸還ヲ待アルノ時遇々倉官檢事長ノ内諭ニ接シタルハ龍川檢事正ハ特ニ閣下ノ指揮ヲ仰カレタルニ去月終ニ再起訴ヲ見合スヘシトノ特命ヲ拜セリ是レ小官ノ現職ニ安シスル能ハサル所以ノ要ナリ

願フニ良平ヲシテ單純ナル事案ノ下ニ本件ノ如キ多伴ナル運命ヲ荷ハシメタランニハ小官ハ自カラ責ヲ引キ謹シテ閣下ノ指揮ニ服スヘキモ本件ハ實ニ政治上多數黨ノ罪惡トシテ上級ノ見地ヨリ起訴シタルモノニシテ剩テ、共同被告タル中村兼吉ハ良平等ニ贈賄シタリトノ事實ヲ認メラレ既ニ司法ノ制裁ニ服セルニ拘ラス收賄者タル良平ノミ獨リ形式上ノ瑕疵ニ因リ不受理トナリタルヲ俾トシ徒爾ニ之ヲ看過スルハ當ニ司法ノ公正ヲ紊ルノミナラス獄ニ坐シタル者ノ内兼吉及前島治平島海金堤等ハ單ニ選舉區民ノ推囑ニ依リ當時縣會ヲ浸蝕セル銅臭ニ餘義ナクセラレタルニ外ナラサルヲ以テ衷情甚タ諒トスヘキモ本犯檢舉ノ必要上敢テ彼等ヲ訴追シ且收賄者中犯情稍諒トスヘキ飛田良吉ヲモ處罰セルニ謂ナク良平ヲ逸スルハ僅カニ一縷ノ光明ヲ照セントセル大獄ノ全豹ヲ沒却スルモノニシテ施テ正教上多大ノ惡果ヲ誘致スルモノタルヲ疑ハス殊ニ小官ノ觀ル所ニ依レハ如今正教上下ニ普クシテ上ニ及ハス用刑亦小奸細惡ニ密カニシテ權門勢家ニ周ネカラス而シテ執法ノ局ニ在ルモノ多クハ形式ニ拘シ狎レテ朝カラ欺クモノナキヲ保シ難カラントス若夫レ下靜カニ時代思潮ノ趨向ヲ察シ上ニ柄衝ヲ失シテ國務ニ統一ナク司直ノ關門タル檢務ハ常ニ其獨立ヲ缺キ有司公德ヲ懷ハスシテ布衣空シク道ヲ說クヲ想ハ、事ハ必スシモ刻下外ニ橫レル國難ノ大ナルヨリ大ナルモノナカラストナサス仰キ願クハ非常ノ秋ノ故ヲ以テ恆躬ノ重キヲ廢テセラレランコトヲ不文意ヲ竭クサス安リニ尊威冒瀆シテ恐懼己ムナシ頓首々々

明治三十七年九月二十五日
 司法大臣波多野敬直閣下
 免官副奏方ノ件ニ付願
 小官義

本年九月二十五日付退官願出候處去月二十九日既ニ後任官ノ任命發表セラレタルモ小官解職ノ沙汰無之聊カ感ヒ居候折柄本願書ハ例文ニ更正スルニアラサレハ貴官ニ於テ副奏方御執達相成難キ趣ヲ以テ同月二十日各官僚ヲ經テ既達ノ願書及上表共御返付相成一應拜承仕候

然ルニ所謂例文トハ病氣若クハ家事上ノ都合ニ因ルトノ理由ヲ意味スルニ外ナラサルヘキモ小官ハ未タ職ニ堪ヘ難キ疾病ニモ無之亦一家ノ都合ヨリ言ハ退官セザル方本意ナルニモ拘ハラス敢テ退官願出候ハ如今司法大臣カ監督權ノ領域ヲ超ヘ或ル特定ノ事案ニ關シ格段ナル干渉ヲ敢テセラル、ハ當サニ我司直ノ獨立ヲ危ウシ爲メニ往々執法ノ公正ヲ懷フノミナラス大局ノ施政ニ於テモ時ニ彼我機關ノ統一ヲ缺キ

挽テ司直ノ威信ヲ保ツ能ハサルモノアルヲ視テ衷情心甚タ安シ難ク遂ニ自ラ分ヲ揣ルニ違アラシテ茲ニ私福ヲ獻ケタル次第ニ有之從テ辭表ノ理由モ亦例文ト趣ヲ異ニスルハ蓋シ止ムヲ得サル義ト存候尤モ此義ニ就テハ曾ア司法大臣ヨリ再應高諭ヲ拜シ候得共固ト信念ニ殉セントシテ奉呈シタルモノニ候得者到底反省ノ餘地無之殊ニ辭表ニ法定ノ要式ナキハ勿論強テ虛構ノ理由ヲ具シ段クモ 聖明ヲ瞞キ奉ルハ恐懼措ク所ナキ義ニ有之夫是陳情ノ末曩日同大臣ヨリ奏請ノ手續ニ及ハレタル次第ニ候間事情御高諒ノ上至急副奏方 御取計相成度別册上記御返付ノ書面兩通相添此段願上候也

追テ本願書ハ所屬各官僚ヲ經由スヘキ筈ニ候得共主務省ニ於テハ凡テ奏請方執達後貴官ヨリ副奏ヲ拒否セラレ餘義ナク返戻セラレタル義ニ付キ更ニ同一手續ヲ繰返スニ由ナク特ニ直送仕候間是亦御高諒相仰候

明治二十七年十一月一日

檢事 紀志 嘉實

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

進達願

別册退官願及上表ハ曩ニ御進達ヲ得テ主務大臣へ提出候處同大臣ハ幸ニ奏請ノ手續ニ及ハレタルニ拘ハラス内閣ニ於テ副奏方相成難キ趣キヲ以テ御返付相受候ニ付本月一日別紙總理大臣宛書面相添へ直送致候處直接受理スヘキ限リニアラストノ理由ヲ以テ再應御返付ヲ相受候得共小官ハ乍遺憾理由ヲ更正スヘキ謂ナキモノト確信致候間可然御進達相成度別册相添此段願上候也

明治二十七年十一月 日

檢事 紀志 嘉實

檢事正瀧川長教殿

○議長(松田正久君) 委員ノ指名ハ追テ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、次回ノ議事日程モ、公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後一時五十三分散會